

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891600066		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 いわま	ユニット名	—
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-357		
自己評価作成日	平成24年3月25日	評価結果 市町村受理日	平成24年10月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0891600066&SCD=730&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年5月25日	評価確定日	平成24年9月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

何時でもそばにいて、どんな話も、ユックリ聴き、安心して生活が出来る様にお手伝いをし、何時でも、明るい笑顔を絶やす事がない様に勤めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者や職員は「いつまでも在宅生活がつづけられますように私たちは寄り添い共に歩いてゆきます」との理念に基づき、家族等と連携を図りながら利用者に寄り添う支援をしている。
管理者や職員は小規模多機能型居宅介護事業所の機能と役割を理解し、家族の介護能力に応じて在宅配食サービスや服薬支援、安否確認など、きめ細かなサービスを提供している。
医療法人が母体のため救急搬送体制が整っているほか、法人運営の福祉施設が隣接し協力関係が築かれているため、利用者や家族等の安心につながっている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りのときに、理念の確認をし仕事に取り組んでいます	理念は全職員で協議して作成したもので、地域密着型サービスの意義を踏まえたものとなっている。 理念を居間に掲示するとともに職員会議や朝夕の申し送り時に確認し合い、実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩中に挨拶をしたりして、地域の方々との交流を持つようにしています	事業所を開設するにあたって地域住民を対象とした事業所の説明会を開催したり、地域の民生委員の見学を受け入れている。 開設して1年に満たないため、現在は隣接する同一法人のグループホームに利用者が訪問し、行事に参加するなど地域との交流を図っている。	管理者は「地域との交流はまだまだ不十分であり、今後地域と係わる機会を増やしていく」との考えなので、その実現を期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだ理解を十分されていないように思いますが 今後地域の方々とのふれ合いを通じて活動できるようにしていきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は 同法人 れんぎょうとの合同の形式で行っていますが、皆様の御意見等をサービスの質の向上が出来るようにと取り組んでいます	運営推進会議は隣接している同一法人のグループホームと合同で2ヶ月に1回市職員の参加を得て開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況を報告したり、意見交換をしている。 会議後に都合の付く委員で利用者と同じ昼食を摂ることが恒例となっており、そこでの雑談なども事業所の運営に役立つ貴重なヒントになっている。 出た意見や助言は全職員で共有し、サービスの質の向上に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	色々な制度の利用（権利擁護）にともない、市職員の来所は頻会にあります 現在 包括支援センターと協力しながら 援助しているケースがあります	市と連携して利用者以外の独居高齢者の生活の相談を受けたり、市職員の事業所への来訪などを通して日頃から連絡を密に取り、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は外に自由に出る事は出来ませんが その他については、自由に入りは出来ます。抑制服とベット柵を使用しているは居りますが、家族の理解を得、解除に向けての検討をしております。	管理者や職員は身体拘束の弊害を理解し、身体拘束をしないケアに心がけているほか、「身体拘束のない介護のための指針」のポスターを掲示して意識付けをしている。 身体拘束をしない介護でリスクが発生しそうな場合は、その都度職員で話し合い、家族等の同意を得たうえで必要最低限の身体拘束を行い、経過観察記録や再検討記録を作成している。 玄関は家族等の了承を得て内側から施錠しているが、居間や居室からは庭に自由に入出入りができる状況である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会などの参加から 皆と話し合い 虐待が無い介護を目指しております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在利用者の中には権利擁護を受けている方が居ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分説明して 納得していただいた上で 御利用していただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様が意見を出し易いように、来所持に声を掛け要望等お聞きし、また 近況を報告するようにしています	管理者や職員は利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは連絡帳でのやり取りや送迎時、来訪時に意見や要望を聴くようにしている。 苦情相談受付窓口を重要事項説明書に明示するとともに玄関に掲示している。 利用者や家族等から出た意見等は職員会議や朝夕の申し送り時に話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議の場があり、その場で意見は出し合えるようになっています	職員は月1回開催する法人の全体会議で意見や要望を表せる機会があるほか、管理者と職員、職員同士で何でも相談し合える関係を築いている。 職員から出た意見等は利用者の支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各個人のもてる力が発揮できるように 配慮してくれています 仕事の内容も自分が責任を持って出来る様に 配慮されています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の参加にはシフト上の配慮があり、必要な資格の取得をするように勧められ、必要な経費も負担してくれる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人ではありませんが職員の行き来があります。 今後は他施設との交流を持てる様にして行きたいと思います		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時前にご本人の情報を得、今一番不安な事、困っている事の意見を聞き 生活に慣れるまでは不安に思う事がない様 援助しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からは今困っている事、今後如何したいかを聞いて、不安のない様に十分話を聞いた上で 随時相談しながら対応しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	いまの状況で本人が如何したいか、今困っている事を踏まえて、何を利用するかを家族と相談しながら決めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人に出来る事は御願ひしています 利用者同志が助け合えるようにも配慮しています。(他利用者の見守り・車椅子移動介助など)		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の衣類や日用品費など家族に依頼し 届けていただく、外出・外泊なが出来る様に支援しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	必要に応じて 家族に御願ひしたり、電話をかけるなどの支援をしています。	管理者は利用者や家族等の意見や要望を聞いたうえで、これまでの生活が継続できるようサービスの提供に努めている。 職員は利用者と家族等との関係や地域との係わりを理解し、利用者の希望にそった関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立する事が無い様に配慮しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了は、他施設の利用と成る事で 終了後の支援などの交流は今のところありません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人・家族から十分話を聞いている本人から話を聞き取る事が出来ないときは 家族の思いを聴き 本人の表情等から 推し量るようにしています	管理者や職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握しているほか、日常的に利用者に話しかけて意見や要望を聴く機会を設けている。 意思疎通が困難な場合は利用者の表情やしぐさから判断したり、職員で話し合っって利用者の思いや意向の把握に努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前に、又は開始時にサマリーや 家族からの聞き取りにより、生活状況を把握するようにしています	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、ケース記録・申し送りノートを読む事で、個人の状況の把握に努めています				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族・本人から十分話を聞いたうえで作成しています	介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れて作成するとともに、3ヶ月から6ヶ月毎にモニタリングを行い見直しているほか、新たな課題や心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、家族等の確認を得ている。 居宅サービス計画にそって介護支援計画を作成し、全職員で共有して利用者の支援にあたっている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録や申し送りノートを活用して情報は共有しています。気づきや問題点も共有し介護に当たっています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や、今必要なことを踏まえて、本人の希望に添って対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	同じ法人のグループホームれんぎょうにボランティアの方々がきたおりに招かれて参加しています。今後は、散髪などボランティアの方の協力などをお願いして行きたいと思えます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院ですが、家族や本人の希望に添って、適切な医療が受けられるように援助しています。急変時は母体の病院に搬送する事になっています。	協力医療機関への定期的な受診支援をしているほか、利用者や家族等の希望にそってかかりつけ医への受診を支援している。 受診結果は家族等と事業所で電話や連絡帳などで連絡し合い、共有して利用者の支援にあたっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェックや、何時もと違う様子については、職員同士共有し、看護師・医師に相談し指示に従っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の情報を伝え、利用者が不安になる事がない様に援助しています。(付き添う等) なるべく早めに退院できるように、医師・看護師と情報を共有し、相談しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護は行っていませんが、なるべく 住み慣れた場所で過ごす事が出来る様に 援助しています。	重度化や終末期については、なるべく住み慣れた場所で最期を迎えられるよう支援する方針であるが、看取り介護は実施していない。 契約時に利用者や家族等に重度化した場合や終末期の対応方針を説明するとともに、終末期の時に相互で交わす確認書を整備している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急などの講習に参加しています。 また、普段から こんな時はどうすればいいのかを看護師に聞いています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行うと共に、備蓄を今後考えてゆきたいと思います。	避難訓練は3月に1回消防署立会いのもと実施し記録に残しているが、地域住民の参加を得るまでには至っていない。 有事に備えて食糧や飲料水などを備蓄するまでには至っていない。	運営推進会議などを通して避難訓練時に地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制を構築することを期待する。 適切な備蓄品や保管場所の整備、備蓄品リストの作成を行うことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に一人ひとりの性格に応じた声掛けを心がけております。排泄誘導の際にも、声のかけかた、場所に配慮しています。	職員は自ら役割を担おうとする利用者に対して「居場所を探している」や「周りを見る力がある」と評価するなど、利用者の一つひとつの所作に対しても専門家としての視点から意味付けをし、一人ひとりの尊厳を尊重した支援をしている。 契約書類は事務室の鍵のかかったロッカーに保管するとともに、個人記録は人目に付き難い書庫に保管するなど、個人情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一日の生活の流れはありますが、その中でも散歩・買い物・レクリエーション等どうするかは、聴きながら決めています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にした援助を心がけています。本人の体調により寝て過ごす、今日は静かに過ごすなどの希望も大切にしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡を見ていただいたりアドバイスしたりして、本人がおしゃれを楽しめるように支援しています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しんで食べていただけるように、職員も一緒に食卓に座り、話題の提供や見守り、一部介助を行っています。 片付けは一緒に行っています。	食事は法人の栄養士によりカロリー計算されたものを利用者の嚥下能力に合わせて調理したり、嫌いな品は代替品で対応しているほか、行事食や自家菜園の収穫物を取り入れ、食事を楽しむことができるよう支援している。 利用者はそれぞれの能力を活かしながら、食事の準備や後片付けを職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事の摂取量の記録をしています。 本人の食べる事の力量に応じて、調理に配慮しています。好き嫌いに対しても、代替食品を使用しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けをし、職員見守りの中で行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各個人に応じた排泄介助を心がけています。尿意・便意のある方はトイレに行きましょうを、モットーとしています。	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けて支援している。 夜間の場合もトイレ誘導やポータブルトイレを利用するなど、なるべくおむつを使用しない支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、運動、食事に注意しています。 チェック表を活用して、便秘にならない様に 援助や、医師相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	午前の入浴となっておりますが、通所介護がある為、曜日の選択は出来ません。 一人ひとりが、自分のペースでユックリ入浴出来るように援助しています。	一般浴室と機械浴室を脱衣室を共用する形で配置している。 風呂は毎日沸かし、同一利用者に対しては週2日を目安に入浴日を設けているが、利用者の状態や希望に応じて入浴日や時間帯を変えたり、シャワー浴や足浴など個々に応じた支援をしている。 現在のところ入浴を拒む利用者はおらず、入浴剤や柚子湯、菖蒲湯などで変化を付け、入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良く入眠出来る様に、日中は活動的に過ごす事が出来る様に援助しています。 昼食後の休憩時間を設け、午睡を促し、体調に応じては何時でも休む事が出来る様に 援助しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がない様に注意し、副作用については職員間共有しています。 日々の様子にも、十分注意しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日のお手伝いを御願ひする事で、自分の役割としていただいて、張り合いが持てる様に援助しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日や、暖かい日は散歩に出かけるようにしています。季節に応じた外出支援や、家族に依頼して本人の行きたい場所に行くなどの支援をしています。	天気の良い日は事業所周辺を散歩したり、庭や玄関先でお茶の時間を楽しむなど、利用者が気軽に外気浴ができるよう支援している。 送迎のためのワゴン車を保有しており、利用者の希望にそっていつでも外出ができる状況で、花見や茨城空港見学などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在 利用者が自己管理しているお金はありませんが、必要に応じて対応して行きたいと思います。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、電話の支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾る等で、共有の空間に季節感を取り入れ、心地よく過ごす事が出来る様に配慮しています。室温・陽の光り・テレビなどの音に注意しています。	玄関や居間には四季折々の花や利用者の手作りの品が飾られ、家庭的な雰囲気居心地よく過ごせる場所となっている。 居間や廊下などの共用空間はゆったりと広々としており、ソファや椅子を上手に使って利用者の居場所づくりを支援している。 なす、ししとう、トマト、きゅうり、じゃがいも、西瓜などを収穫できる自家菜園は、利用者と職員が共同で作業をしたり、コミュニケーションを図る場となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアや自室など、思い思いの場所で過ごす事が出来る様に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ショートステイの為あまり持ち込みはありませんが、使い慣れたものの持込を御願ひしています。	居室は掃き出し窓から庭先に自由に出入ができるほか、利用者が居心地よく過ごせるよう馴染みの物品や好みの物品を持ち込むことが可能となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の力量に応じて目印をつける等、自立した生活出来る様に援助しています。 躓いて 転倒する事が無い様にバリアフリーになっており、それぞれの場所に手すりの設置がしてあります。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能型居宅介護施設いわま

作成日 平成24年9月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流は、まだ不十分です。	地域とかかわる機会を増やす。	地域のイベントに参加したり、近隣を散歩した時に地域の方との交流を図りたい。	6ヶ月～12ヶ月
2	13	避難訓練時、地域住民の協力体制が出来ていない。	地域住民との協力体制を図りたい。	避難訓練を、10月下旬頃行う予定、運営推進委員会議の時に民生委員さんや町内会長さんに声かけをして協力が得られるよう努める。	6ヶ月～12ヶ月
3	13	備蓄品や保管場所を設けていない。	備蓄品、保管場所を設ける。	長期保存できる食材、飲料品などを用意し、保管場所を設け備蓄品管理リストの作成を行う。	6ヶ月～12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。